

柏南ロータリークラブ 会報

2025-2026 片岡達生年度



よいことのために
手を取り合おう



第46代会長 片岡 達生
幹事 井畑 和士 齊藤 洋子

第2029回 2025年11月11日(火)
第2030回 2025年11月23日(日)

会長挨拶

みなさま、こんばんは。

夜間例会にご参加いただきありがとうございます。

本日は、東京ベイロータリークラブの金子高一郎さんを卓話ゲストとしてお迎えしています。金子さんに卓話をお願いするきっかけは、今年の3月11日の当クラブの例会にメーキャップでお越しくださったことでした。その際、わずか16名のクラブで第2580地区の地区大会を帝国ホテルで成功させたというお話を伺い、少数クラブとは思えない勢いとクラブ愛に強く惹かれました。

その後の4月17日、当時の幹事予定の井畑さん・洋子さん、SAA予定の新保さんをお誘いし、東京ベイRCの例会にメーキャップに伺いました。私は、テンションの高いメンバーによる熱気あふれるクラブを想像していましたが、実際は安心感に満ちた、居心地の良い「あたたかい」空間でした。「ことを成すには、まずこうした土壌が必要なのかもしれない」と感じ、この経験が私の年度テーマ「仲良しクラブへの回帰」の出発点となりました。

金子さんに卓話をお願いしたのは、少数ながら素晴らしいクラブを創りあげた東京ベイRCを知ること、私たち柏南RCの再生のヒントをいただけるのではないかと考えたからです。

折しも、私たち柏南RCでは、先日の指名委員会で、

次年度 = 井畑会長・新保幹事体制、
次次年度 = 洋子会長・亮弥幹事体制

が選任されました。

まさに今日の卓話「少数クラブで乗り越えた73年に一度の大業」は、次世代リーダーの皆さんにぜひ聴いてほしい話です。金子さんにはこの後の懇親会にもご参加いただきます。ぜひ次世代リーダーを中心に、金子さんを囲んで学びを深めていただければと思います。

最後に連絡を一つ。次回例会は11月23日(日) 柏リレーマラソンでの移動例会です。また、同日の夕刻には、元グローバル奨学生・中村柁さんを囲む会を開催します。ハーバード大学で学び、現在ボストンで活躍される中村さんを励ます集いです。ぜひご参加ください。



卓話 金子 高一郎様（東京ベイロータークラブ）

会員わずか16名の東京ベイロータークラブに、第2580地区大会のホストという大役が託された。「この人数ではホストクラブは無理だ」と周囲に言われながらも、栃木一夫がバナーの「ロータリアンの心に火をつけよう」との言葉を胸に、メンバーは信念をもって準備を進めた。会議は50回を超え、帝国ホテル開催という高いハードルにも関わらず、その格式ある舞台にふさわしい大会を実現するため、構成や演出の細部まで練り上げていった。



幹事団からの圧力や進捗催促にも屈せず、やがて「全員主役」の精神でクラブが一体となる。迎えた当日、芸者衆のおもてなしや和太鼓演奏、著名人の講演、音楽家・ミュージシャンによる演奏など多彩なプログラムで会場は熱気に包まれ、登録者は例年を大きく上回る1,661名を記録した。参加者からは「過去最高に楽しかった」と称賛の声が相次ぎ、制作会社からも「これまで共に手がけた地区大会の中で最も素晴らしいクラブだった」と評された。

最初に浴びた「お前らじゃできねえだろう」という言葉を原動力に、情熱と信頼で不可能を可能に変えた16名の挑戦は、まさに「ロータリアンの心に火をつけた」大会となった。

柏リレーマラソン



2025年11月23日、柏南ロータークラブは移動例会として「第13回 KASHIWAリレーマラソン」の給水所ボランティアを担当しました。大会はKASHIWAリレーマラソン実行委員会が主催し、千葉県・柏市をはじめ多くの自治体や教育委員会、団体の後援を受ける地域定着型イベントです。柏南RCは7つの協力団体のひとつとして毎年参加しています。

KASHIWAリレーマラソンは2013年に柏商工会議所青年部のメンバーにより誕生し、今年で13回目。立ち上げには当クラブの井畑和士会員（本年度幹事・会長エレクト）も関わっており、クラブにとってもゆかりの深い大会です。午前は親子マラソンやちびっこランなど子どもが主役のレース、午後はフル・ハーフのリレーマラソンと続き、一日中スタジアムが熱気に包まれます。

柏南RCは例年どおり陸上トラック脇の給水所を担当し、飲料水に加えてクラブで用意したバナナやお菓子を提供。今年は参加者が多かったこともあり、開始直後から給水所は大盛況となりました。新保会員を中心に、倉持会員・齋藤誠会員のフレッシュチームがテンポよくバナナをさばき、ベテラン勢もお菓子や水の提供で支えます。今年も柏日体大附属高校の生徒の皆さんが助っ人に入り、給水オペレーションを一段と加速してくれました。

しかし大盛況の裏で、バナナとお菓子は例年の1.5倍のスピードで消費され、10時には品切れに。続いて紙コップも底をつき、やむなくペットボトルで提供するも、それも早々に終了。ハーフの選手が戻る前に給水所は“閉店”となり、次回への課題が浮き彫りとなりました。

それでも、子どもたちがバナナを頬張る姿や、走り終えて水を飲むランナーの笑顔は、給水所ならではの特等席の風景です。合間には会員同士が語らい、来期の構想について井畑会長エレクトと話す場面もあり、奉仕と交流が満ちた一日となりました。

参加された会員の皆さま、本当にお疲れさまでした。

元グローバル奨学生 中村 柁さんを囲む会

11月23日、KASHIWAリレーマラソンの熱気冷めやらぬ夕刻18時に、中村柁さんを囲む会を開催しました。参加者は中村さん、片岡会長、竹村前会長、森地区米山委員、丸山幹事（柏中央RC）です。丸山幹事を招いたのは、中村さんが地元企業とのつながりを望んでいたことがきっかけです。

当日は、中村さんよりハーバード教育大学院留学やボストン市教育委員会での勤務、日本の若者に国際交流を提供するNPO「ED future」の活動などを詳しく伺いました。また、アメリカ社会の現状、日本の教育課題、今後の展望など話題は多岐にわたり、丸山幹事との意見交換も大いに盛り上がりました。将来的な両クラブの共同プロジェクトの可能性にも触れ、今後の継続的な交流を約束して会を締めくくりました。

